

(1) 北陸地域の農業

北陸農政局管内(新潟県、富山県、石川県、福井県)の平成29年の耕地面積は約31万haで、全国の7%を占めています。そのうち約9割が水田となっています。

地形は、日本海に面して細長く、新潟県から福井県まで東西約400kmに及び、背後に越後山脈・三国山脈・立山連峰・白山連峰等の急峻な山々が迫っています。

気候は、夏季は高温・多照である一方で、冬季は多雪・寒冷で日照時間は太平洋側と比べて半分程度と少なく、特に新潟県の上越・中越地方や山間部は豪雪地帯となっています。

水・土壤条件に恵まれ、全国有数の良質米産地となっており、平成28年の管内の農業産出額に占める米の割合は59%で、全国の15%を占めています。

— 新潟県の概要 —

耕地面積は全国2位、米の生産量は全国1位となっています(平成28年産)。

米を主体としつつ、砂丘地から山間高冷地まで特色ある気候風土を活かし、多種多様な野菜、果樹、花きの生産が行われています。

また、えだまめ(くろさき茶豆等)、西洋なし(ル・レクチエ)、いちご(越後姫)、にいがた和牛等のブランド化を推進しています。



— 富山県の概要 —

耕地面積のうち、96%を水田が占め、米が主体の営農が展開されており、特に集落営農組織への農地集積が進んでいます。

園芸作物の戦略品目を設定し、生産拡大に取り組み、たまねぎ、ハトムギ等の産地が形成されています。

また、水田の有効活用を図るため始めたチューリップ球根栽培は、国内有数の産地となっており、新品種の育成も盛んです。



— 石川県の概要 —

県南部の加賀地域は、平坦部では米が主体で、海岸沿いの砂丘地帯では野菜、山間地では果樹の生産が盛んです。

一方、県北部の能登地域は、独特の気候、土壤を活かした野菜が生産されています。

また、ぶどう(ルビーロマン)、日本なし(加賀しずく)、フリージア(エアリー・フローラ)等のブランド化を推進しています。



— 福井県の概要 —

米を中心とした2年3作体系(水稻+大麦+大豆)が定着しており、生産量全国1位(平成28年産)の六条大麦、大豆、そば等が生産されています。

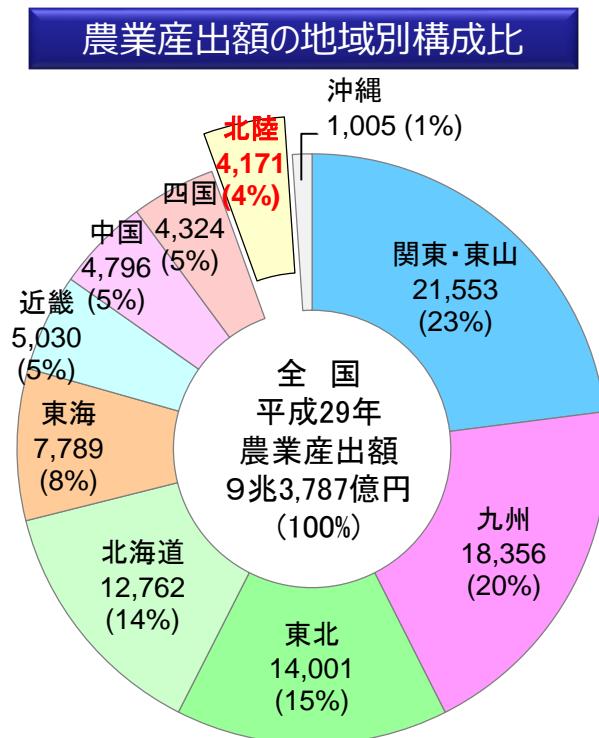
県北部海岸沿いの砂丘地帯ではすいか、らっきょう、嶺南地域等では、大規模園芸施設の導入が進められています。

また、エコファーマーの認定件数(平成29年3月末現在)が全国1位であり、全国の約17%を占めています。

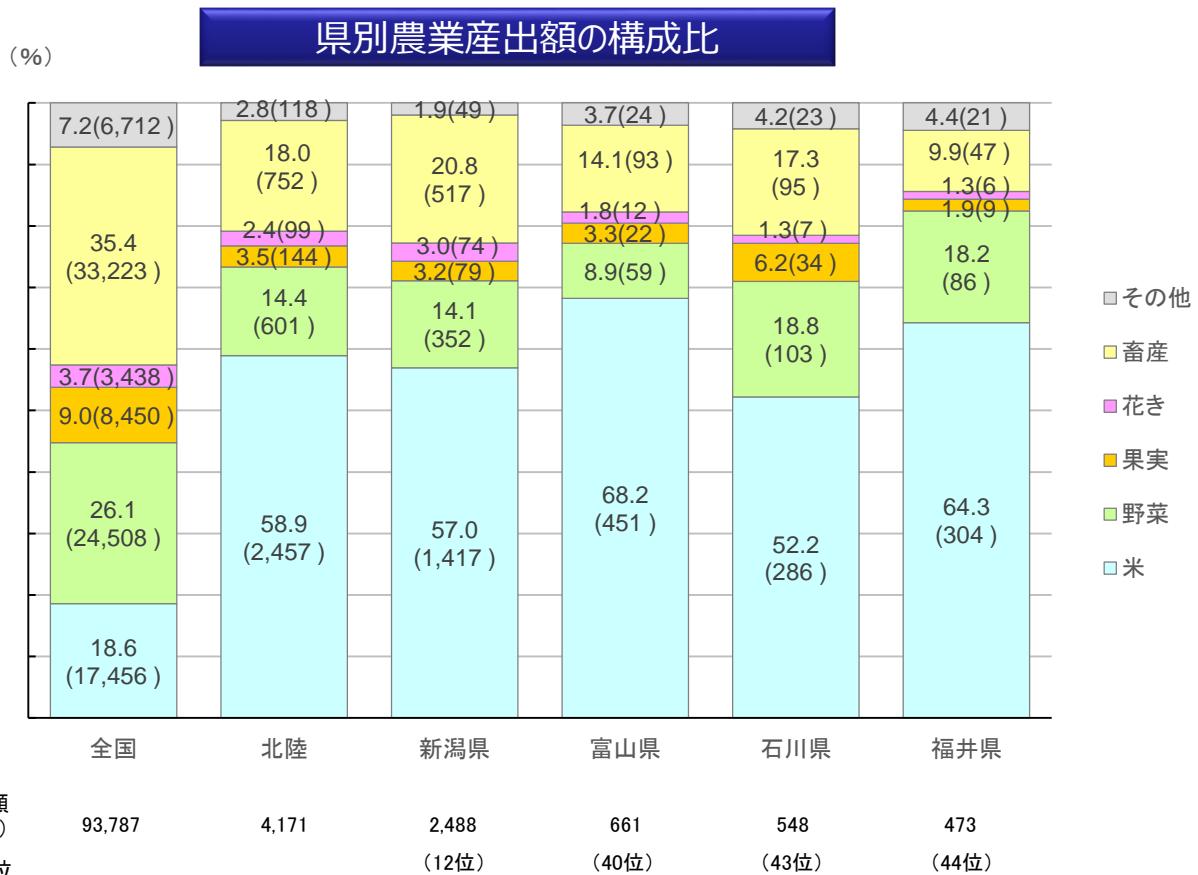


1 北陸地域の「食」と「農」のあらまし

(2) 農業産出額



資料:生産農業所得統計(平成29年)



資料:生産農業所得統計(平成29年)

注:1) 全国は都道府県別の合計

2) ()内は実額であり、単位は億円